

令和3年度 学校だより



令和3年7月9日（金）

御前崎市立第一小学校

学校教育目標

花いっぱい 自分 友だち 御一小

E-mail: 7月号

onichi@ed.city.omaezaki.shizuoka

『 子供たちに 危機意識と対応力を 』

先週末に発生した熱海市の土石流による甚大な被害に遭われて、亡くなられた方やその御家族の皆様にお悔やみを申し上げます。また、けがをされた方や被災されたすべての皆様にお見舞いと一日も早い御快復と復興をお祈りいたします。

ニュースで見た動画に、驚きや恐怖と共に、心を痛めたのは私だけではなかったと思います。被害を目の当たりにされた方々が、どんなに恐ろしかったか、どんなに痛かったか、そして、悔しかったか。被害に遭われた皆さんのことを思うと、つらく悲しくなります。今となっては、どうにも戻らないことではありますが、離れていてもその土地のみなさんの痛みを想像し、思いを馳せることはできます。気持ちを想像することが、日頃の危機意識や防災意識を育てることにつながるのではないかと考えます。自然災害が起こるたびに、人の力の無力さを感じてしまいます。しかし、それらに立ち向かい人を救えるのもまた、人であると思います。今自分にできることを考えて、自分から動き、人を巻き込む力こそ、これからの社会に生きる人に求められる資質・能力の一つです。

また、6月14日（金）には、PTA生活安全委員の皆様と6年生の子供たち、警察や市危機管理課、交通安全指導員やサポート隊の皆様と共に、『通学路の危険箇所』について協議する「交通安全を語る会」を行いました。これからも大雨や強い風の吹く中、登下校することもあります。普段歩いているからこそ、気づくこともあります。子どもが知っていても大人が知らないこと、また逆に、大人が知っていても子どもが知らないことがあるかもしれません。御家庭で、以下の内容について、今一度お子さんと一緒に確認をし、子供たちの危機意識と対応力を育てていきましょう。

1 学校までの通学路、いつも遊びに行く友達の家や公園まで道のりで、防災・防犯上危険なところはないですか。危機回避の方法を一緒に考えてみてください。

- ・川や用水路があり、雨が降ると水があふれてしまう場所
- ・こども110番の家の場所
- ・見通しがよくない場所
- ・人通りが少なく、周りから見にくい場所
- ・さえぎるものがなく、風が強い日には危険な場所
- ・車の通りが激しく、通行や横断に注意が必要な場所

強い雨の中、傘を握りめて一生懸命歩いてきた子どもたちを抱きしめたくくなりました。
(校長 増田久美子)



2 通学路とは違う道を歩いて登下校していませんか。

- ・通学路は子供たちが安全に登下校できるように決められた学校までの経路です。

3 雨の日の準備 雨合羽や長靴、着替えやタオルの準備 風向きを考えた傘の差し方等